

巻 頭 言

(社)ニューガラスフォーラム

会 長 瀬 谷 博 道

当フォーラムの平成9年度の活動は、第10回通常総会においてご承認頂いた事業計画にしたがって展開してまいります。本年度事業で特に重点をおいているのは、コンジュゲート材料に関する先導研究と第6回ニューガラス国際シンポジュームの開催であります。

「コンジュゲート材料に関する先導研究」は通常産業省の産業科学技術開発制度に基づく国家プロジェクトの前段階として実施するものです。コンジュゲート材料とは一口で言えば、ガラスの中に機能性の微粒子を規則的に配列させることにより、新規な機能を実現するという構想のもとに、アモルファス材料としてのガラスの特徴を活かして高機能ハイブリッド材料を開発しようとするものです。この先導研究を推進するため、フォーラム内に新しく「先導研究推進委員会」を設置し、委員長には当フォーラム設立当初から特別会員としてご指導を賜っている東京工業大学の山根正之教授にご就任頂いております。本先導研究が是非とも国家プロジェクトとして発足できるよう頑張っていきたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力を御願い致します。

「ニューガラス国際シンポジューム」はニューガラスに関する国際交流の推進を目指して隔年毎に開催して参りましたが、今回で第6回目を迎えます。今回のテーマとしては、近年国内外で活発に研究開発が行われているガラス系の高機能ハイブリッド材料を予定しており、詳細については国際シンポジューム組織委員会に検討をお願いいたしております。コンジュゲート材料もガラス系高機能ハイブリッド材料であることから、本年の国際シンポジュームは上記先導研究の周辺分野についての勉強する意味合いも込めております。

フォーラムの中期的視野からの事業についても検討を進めており、特に欠陥の無い均質なニューガラス材料の製造に不可欠で、ヨーロッパや米国でも精力的な研究が行われているガラス高温融体物性の研究について通商産業省のご支援を得たいと存じております。

終わりになりましたが、会員の皆様のご意向を事務局にお聞かせ頂き、よりお役にたつような業務を推進して行きたいと存じますのでどうぞよろしく御願いいたします。